

機械器具 5 1 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 カテーテルコネクタ 32339000

S D着脱コネクタ

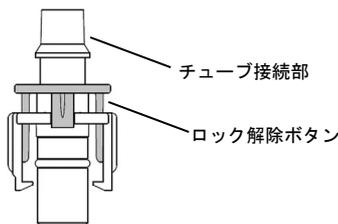
再使用禁止

【禁忌・禁止】

- 1.使用方法
再使用、再滅菌禁止

【形状・構造及び原理等】

1. 構造



2. 種類

本品は構成内容により以下の種類がある。

製品番号	チューブ接続部最大径 (mm)
MD-80760	φ12.5

※本品はE O G滅菌済みである。

【使用目的又は効果】

カテーテルと容器等の接続に用いる器具である。

【使用方法等】

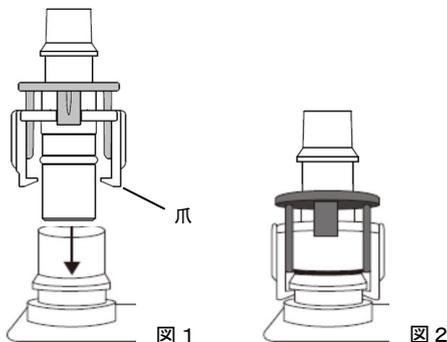
1.本品の使用に際して、必要に応じ以下のものを準備する。

- ・本品
- ・排液バック「サーボ排液バック」
販売名：サーボ排液バック
(医療機器届出番号 14B1X10030000019)
対象品番：MD-80710、MD-80718
- ・コネクティングチューブ (SE チューブなど)

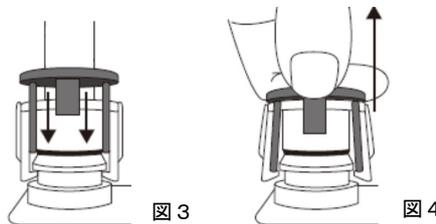
2.本品をサーボ排液バックの着脱コネクタ接続口に接続する。

3.着脱コネクタの着脱方法

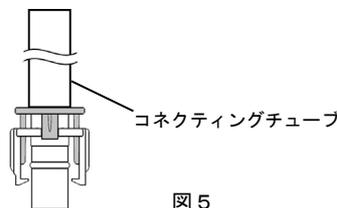
- 1)取り付けする時は着脱コネクタを着脱コネクタ接続口に「カチッ」と音がするまで押し込み (図1)、爪が確実に引っ掛かっていることを確認する。(図2)



- 2)取り外す時は着脱コネクタのロック解除ボタン(青色)を下方へ押し込む。(図3) 下方へ押し込んだ状態を維持し、上方へ引き抜く。(図4) (ロック解除ボタンを下方へ押し込んだ状態を維持しないと外れない。)



- 4.本品のチューブ接続部にコネクティングチューブをロック解除ボタンに付きあたるまで接続する。(図5)



【使用方法等に関する使用上の注意】

- 1.本品を床に落下させたり、その他強い衝撃を加えないこと。破損する可能性がある。
- 2.本品は、サーボ排液バックに接続できるように設計されている。対象品番以外の製品とは接続しないこと。
- 3.本品のチューブ接続部(外径)は【形状・構造及び原理等】欄に示すとおりである。コネクティングチューブと本品を接続して使用する時には事前に接続できることの確認および、気密確認を行うこと。接続できないドレーンチューブは使用しないこと。[気密性を確保できない、又は使用中に外れる可能性がある。]
- 4.着脱コネクタのOリングが欠損しているものや装着状態に異常のあるものは使用しないこと。[Oリングに異常があると気密性が担保されない可能性がある。]
- 5.本品がサーボ排液バックから外れないようにテープなどで固定すること。[吸引できない危険性がある。]

【使用上の注意】

1. 不具合・有害事象

- 【重大な不具合】
- ・吸引異常 (吸引不能)

【その他の不具合】

- ・気密不良

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管条件

- 1)本品は直射日光および水濡れを避け、涼しい場所で保管すること。
- 2)ケースに収納した状態で保管すること。

2. 有効期間

本品の滅菌保証期間は製造後 3 年間とする。(自己認証による)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

【製造販売業者】

S Bカワスミ株式会社

【お問い合わせ先電話番号】

東京	03-5462-4824	大阪	06-7659-2156
札幌	0133-60-2400	名古屋	052-726-8381
仙台	022-742-2471	広島	082-542-1381
北関東	0495-77-2621	福岡	092-624-0123